

1. 目標

心を育て、温かい人間関係を育む学級・学校づくり
～豊かな心と健やかな体を育むために～

2. 目標設定の理由

これまで、豊かな人間性を高めるため、その基盤となる温かい人間関係のある学級づくりや、児童のコミュニケーション能力を高めることを研究してきた。児童の実態をみると、一人ひとりはとても優しく、同年齢異年齢に関わらず、親しく遊ぶことができるが、自ら主体的に働きかけたり、自信をもって活動したりする面に弱さがみられた。また、生活リズムや、体力面に課題のみられる児童もいた。

そこで、平成26年度より、豊かな心と健やかな体を育むために「心を育て、温かい人間関係を育む学級・学校づくり」を目標とし、実践してきた。具体的には、Q-Uアンケートの分析、共有を通して組織的な学級経営力の向上を目指した校内研修を行ってきた。学級の課題を学校全体の課題と捉え、ターゲットシートを基に、各教員がそれぞれの立場で役割をもって実践していくことで、全校児童の理解を深め、組織的に実践してきた。さらに平成27年度からは、新たに「かがやきの時間」を設け、児童の実態に応じての生活習慣や環境を見直し、問題点を改善するためにどのようにすればよいのかを考える時間を保証し、意識改善・生活改善の取り組みを行ってきた。

このような取り組みにより、人間関係を育む「温かいことば」を広げ、自らの生活を振り返ろうとする姿が多く見られるようになり、安心できる学級となってきた。

また、体力づくりでは、年間を通して、専門的な外部講師を招聘し、指導方法の研究を進めてきた。発達段階に応じた指導方法を共有し、実践することで、低学年からの学びを繋げることができてきた。しかし、児童が自信をもって自主的に活動することや、その場に応じた行動、相手のことや後のことを想像することにまだ弱い面もみられる。

そこでこれまでの取り組みを継承し、温かい人間関係がある学校・学級づくりを目指すために児童が相互に関わり合い、解決の方法を考える活動を仕組み、児童自らが進んで学校生活をよりよくしていくためにはどうすればよいかを考え行動させることを通して児童の豊かな心と健やかな体を育んでいくこととした。

3. 実践の歩み（平成27年度）

時期	実態把握・実践
4月	*「あいさつ」や「ルールづくり」のエクササイズ
4月中旬	Q-Uアンケートの実施①・分析①・共有（チェック①）・ターゲットシート①作成 *「聴き方」のエクササイズ
7月初旬	Q-Uアンケートの実施②
学期中間	いじめアンケート①
学期末	子どもの声アンケート①
夏季休業中	人権レポート検討会 Q-U分析②（1回目と2回目の比較、NRTとの関連）・共有（チェック②）・ターゲットシート②作成
11月中旬	Q-Uアンケートの実施③・分析③・共有（チェック③）・ターゲットシート③作成
学期中間	いじめアンケート②
学期末	子どもの声アンケート②
学期末	いじめアンケート③

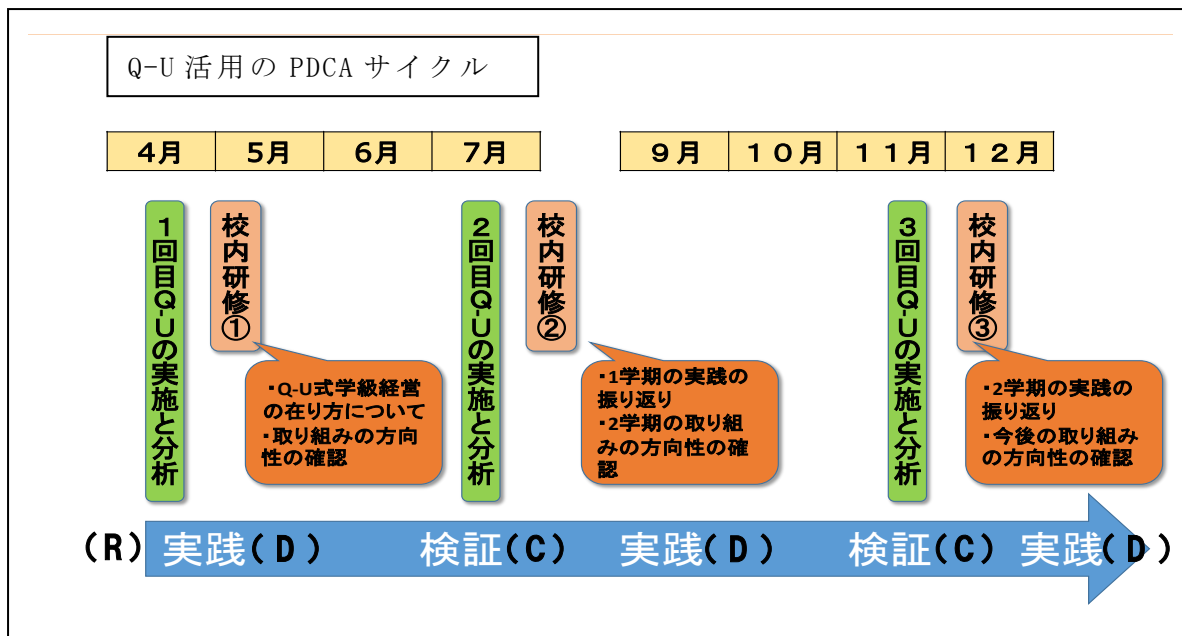
4. 豊かな心を育むために

～人間関係づくりの具体的な取り組み～

(1) 実態把握

①Q-U アンケートの実施

年間3回のQ-Uを実施することとし、1回目は4月に実施し、その結果から現状を把握し、課題をつかみ、ゴールを設定して仕掛けていく。その実践がどうだったかの振り返りとして、2回目を7月初旬に、3回目を11月中旬に実施した。アンケートの実施後には校内研修を行い、学級の状態や学校としての課題を明らかにし、具体的な実践方法を考え、その後の実践に活かすようにしてきた。



Q-Uに関する校内研修の目的と内容は以下のとおりである。いずれも、Q-U実施後、各担任が分析した結果をもとに行っている。

校内研修の目的と内容

	目 的	内 容
第1回 (4月)	学校課題と取り組みの方向性を確認することで全教職員のベクトルを合わせる。	①各学級の結果分析の共有 ②講話（学級状態別で比較する授業づくりのポイント） ③ターゲットシート①の記入（資料生1） ④RVシートの書き込み
第2回 (7月)	事例検討会を通して、アセスメントの仕方、対応の仕方を学び、自分自身の分析、対応策に生かす。	①事例検討会（K-13法） ②1学期のターゲットシート①の反省と課題 ③ターゲットシート②の記入
第3回 (12月)	児童の実態把握とこれまでの実践の振り返り、さらに今後の学級経営のポイントについて話し合う。	①各学級の結果分析の共有とターゲットシート②の振り返り ②RVシートの書き込み ③ターゲットシート③の記入

②校内研修の具体的な内容

第2回の校内研修では、K-13法による事例検討会を行った。

1つの学級の事例を挙げ、実態・課題を把握・検討し、グループに分かれて対応策を考えた。対応策を練り出すことは、自分の学級への実践につながることを考える。



新居小Q-U式 ターゲットシート 9月 1日～ 12月 25日までの取組

年・担任 _____

1 年	2 年	3・4 年	5 年	6 年
課題・いやなことを言われ乱暴にされる。協力ができていない。	課題・喧嘩・トラブルが起きないスキルの獲得。	課題・いやなことを言われたり、されたりすることがある。	課題・ゆるみが見られ集団の力が低下。孤独感。本音が出ない。	課題・個々のつながりが弱い。
対応策 ・ルールの徹底。 ・協力して達成感を味わう。	対応策 ・時間を置いて3回ほめる。 ・活躍する場を設ける。	対応策 ・友だちの良い所を書き認めていく。	対応策 ・ルールを再確認する。 ・個々だけでなく、必ず集団を育てる意図と手立てを持って指導。	対応策 ・個々のつながりを強化する。 ・仲間意識を高める。 ・防災キャンプ・修学旅行に向けて

全校的な課題

- ・自分の気持ちをはっきりと伝えることができない。そのため我慢をしたりあきらめたりする傾向がある。

取組

- ・表現方法をスキルとして教えていく。(低学年)
- ・行動に言葉をつけていく。
- ・**相手意識を持って自分の思いを話せるようにしていく。**
- ・**相手の話をしっかり聴く。**

事例検討の後は、各学年の課題・対応策をそれぞれ出し合い、全校的な課題の共通点を見つけ、取組みを考えた。取組み内容は、教職員の意識だけでなく、集会で児童に提示し、児童も教職員も意識することを確認した。目に見える工夫もして、常に意識できるようにしてきた。授業中の中での評価や、担任以外の評価も行い、子どもたちの意識に少しずつ定着してきている。この2学期の取組みは、執行部でも取り上げ、全校への実践につながった。

ターゲットシートの内容も、回を重ねる毎にターゲットが絞り込めるようになり、教職員の指導のポイントが分かりやすくなった。

③子どもの声アンケート

学期末に実施し、生活・学習面の児童の意識や、自分自身についての率直な気持ちを把握し、その後の実践に活かすようにしている。(資料生1参照)

(2) 取組み内容

①特別活動、朝の会、帰りの会での人間関係づくり (※各学年の取組み参照)

日々の生活の中での声掛け、学習における友達同士の関わり、特別活動における人間関係づくりなど、あらゆる場面で行われるべきだと意識し、実践をしてきた。

以下に、平成27年度各学年の取組みを述べる。

1 学年の取り組み

1、学級の実態

男子2名女子3名の小集団である。男子は元気に外で遊び、女子は外に行ったり中で遊んだりしている。男女とも仲がよく、5分休みには5人がもつれ合いながら遊ぶ姿がよく見られた。少人数であるが、それぞれの個性は強い。1回目のQ-Uでは、満足群が5人であったが、11月では満足群は1人で、非承認群は4人となった。友だちからの認められ感が弱く、学習面においてもしんどい面が見えてきた二学期となった。

2、人間関係づくりの具体的な取り組み

(1) 継続的な取り組み・・・共感し友だちを知るために

- ・朝の会で・・・1分間スピーチ

「朝の出来事」「何色出るかな?」「もしもシリーズ・・・」など。聞きながら想像し、共感したり発見したりして楽しんでいた。

- ・帰りの会で・・・今日のキラキラ

「友だちキラキラ」は、友だちががんばっていたことや、してもらってうれしかったことを、「自分キラキラ」は、自分がすごくがんばったことや、楽しかったことを書き、発表する。

(2) 特活・学級活動で・・・温かい雰囲気をつくっていくために

- ・生活目標から・・・「ぼかぼかことば」

12月の生活目標の「ぼかぼかことば」について考えることになった。「自分が言ってもらいたいことば」を一人ひとりが書き出した。沢山書く中で「ありがとう・上手だね・大好き・ごめんね・すごいね」が多くあり、友だちの言ってもらいたい言葉を知ること意識するようになった。

- ・お楽しみ会

生活科で畑を耕し野菜を育て、販売したことで3年生とお楽しみ会をすることにした。自分たちでゲームを考え、クリスマスケーキも作るようになった。教えたり手伝ったり、順番を守ってよくやっていた。教室では簡単なゲームで楽しんだ。

- ・友だち(自分)にプレゼントカード

友だちにぴったり合う絵を選び、コメントを書いて渡していく。最後にはがんばった自分にもプレゼントとして選ぶようにする。自分への手紙も書く。

(3) 授業の中で・・・仲間と共に伸びるために

- ・教え合う

ペアで考え学び合ったり、早く終わったら友だちに関わり合い教えたりしていく。

- ・生活科から

野菜を育て、販売したり料理をしたりして、仲間と共に活動する楽しさを体験してきた。

3、成果と課題

朝から放課後、下校後も友達と遊ぶことで、より仲が深まってきた。「今日のキラキラ」で友達のよさを書き発表することでお互いが喜びいい笑顔になってきた。学習面でも発表できなかった児童が手を挙げるようになり、みんなが誉め合い喜んだ。その児童だけでなく、学級全体にも変化が見られるようになってきた。承認得点を上げるためにも、学習面でも友達との関わりを仕組み、みんなが認め合い、居心地のいい学級を目指してしていくよう、自分も楽しんでいきたい。

2 学年の取り組み

1、学級の実態

男子4名、女子8名、計12名の学級である。元気で明るく、何事にも興味を持って取り組める。きちんとできていないことを注意し合って、そのことからけんかになってしまうことがよくある。1回目のQ-Uでは、満足群9名、非承認群1名、侵害行為認知群1名、不満足群1名であった。特に不満足群の児童は、周りから嫌なことを言われても、何も言い返すことができず、泣いてしまうようなところがあった。全体的に見ると、被侵害得点の中でも「嫌なことを言われる」と感じている児童が多かった。学習意欲は高く、係の仕事や当番の仕事も、積極的に取り組める児童がほとんどである。その良さを生かしながら、友達への言葉がけや行動について考えさせていく必要性を感じた。

2、人間関係づくりの具体的な取り組み

(1) 継続的な取り組み

- ・朝の会…毎朝の「あいさつの達人」。友達と向かい合って、いろいろなアクションをつけて挨拶をしあう。
- ・帰りの会…「今日のキラリ」。内容は、自分がかんばったこと、友達がかんばっていたことである。「スマイルタイム」。一日をみんなが笑顔で終わられるように、簡単なゲームを実施してきた。

(2) 特別・学級活動での取り組み

①今日のキラリ

半月に1度、みんなが書いた「今日のキラリ」から一つずつ選んで、一枚の紙にまとめ、みんなで読みあった。友達が自分のことを書いてくれているのを見つけた児童はとてもうれしそうであった。

②人間関係づくり、ソーシャルスキル学習

「わたしは誰でしょう」「すきなのだっち」「言葉について」「いいところさがし」「ほめほめスタンプをあつめよう」などのエクササイズを定期的実施した。

(3) 授業の中で

日々の授業の中でも児童同士が関わり合い、認め合えるように、必ずペアやグループ活動を入れたり、国語科では、発表会や自分の作品を交流し合ったりする活動を積極的に取り入れ、認め合えるようにしてきた。また、友達との良い関わりには評価を入れて価値づけるようにしてきた。

3、成果と課題

11月に実施したQ-Uでは、満足群11名、侵害行為認知群1名という結果になった。前回、満足群以外にいた児童は、満足群に属していた。特に不満足群だった児童は、前向きに学習に取り組むようになり、友達との関わり方も上手になってきた。非承認群だった児童も自分の得意なことを友達に認めてもらうことで承認得点が上がってきた。

学級の雰囲気は上昇してきており、クラスとしてのまとまりができつつあるように思われる。しかし、まだ、「嫌なことを言われる」という児童が多い。トラブルが起きた時には、自分の行動を振り返らせ、何がいけなかったのか、どうすればよかったのかなどを継続的に指導していくとともに、よい行動はしっかりと認め、良いことの価値づけを繰り返し行っていく必要がある。

3・4学年の取り組み

1、学級の実態

3年生2名、4年生7名の複式学級である。3年生、4年生共に元気で明るく、仲良く協力して活動できる。男女の仲もよく、誘い合ってみんなで遊ぶ姿が見られる。しかし、中には言葉遣いが気になる児童がおり、トラブルになるほどではないが、友達に対しきつい口調が見られる。学習に対しては、意欲的に取り組む姿勢があり、どんな活動も前向きに努力することができる。忘れ物が多い児童や取り掛かりに時間がかかる児童がおり、個別の声かけや指導が必要である。

2、人間関係づくりの具体的な取り組み

(1) 継続的な取り組み・・・自信を積み重ねていくために

- ・帰りの会・・・「いいことさがし」

友達のよい行動や、してもらって嬉しかったことなどを、帰りの会で発表する。

(2) 特活・学級活動で・・・温かい雰囲気を作っていくために

- ・お誕生日のお祝い

誕生日を迎えた児童に好きなゲームを選んでもらい、みんなで楽しむようにしている。また、黒板にみんなでお祝いのメッセージを描いて、記念写真を撮っている。黒板には、友達への温かいメッセージが描かれており、誕生日を迎えた児童は、それを読んでとても喜んでいる。

(3) 授業の中で・・・仲間と共に伸びるために

- ・ペア学習

2人組で学び合うことで、相手を意識した話し合いや、助け合いをしている。

- ・道徳の授業

思いやりの心を育む・目標に向かって頑張る姿勢を育む・ことばの力を知る。

(4) 行事の中で・・・認め合える仲間作りのために

- ・防災キャンプとそれに向けた学習

目標に向かって、共に努力することを意識させ、協力して体験活動・まとめの学習・発表を行った。

3、成果と課題

4月に行ったQ-Uの結果では、3年生2名が侵害行為認知群、4年生1名が非承認群であった。昨年からの複式となり、異学年で活動することにも慣れてはいるが、3年生の方が、人数の多い4年生の中で、自分を出しづらいののだろうかと思われた。4年生の1名は、やや自分に自信がなく、友達から認められていないと感じているようだったので、声かけや励ましを多くするなど、気にかけていく必要があると感じた。

7月に行った2回目のQ-Uでは、3年生2人が満足群に入り、4年生の大半も数値の向上が見られた。新しい学年や担任にも慣れ、それぞれが落ち着いて学校生活を送ることができているからではないだろうか。しかし、4年生の1名は、前回と全く変わらず、非承認群のままであった。

3回目となる11月のQ-Uでは全員が満足群に入っていた。日々の実践は小さなものでも、それを継続し積み重ねていくことで、全員が学校生活に満足するという成果がでたのではないかと思う。また、学習の中で助け合うことの多い異学年の集団であることの良さも生きてきたのではないかと思う。

Q-Uを行うことで、日ごろの観察だけでは把握できない個々の内面の課題が見え、学級経営や様々な取り組みにつながり、とてもよかったと思う。

5 学年の取り組み

1. 学級の実態

日々の学習や行事のなかで、児童は友達と関わり合いながら学ぶことの大切さ、与えられた役割を責任を持って行うことや自分達で活動を工夫すること、行事を成功させるためには準備や協力、そして全力でがんばることが必要なことなど学ぶことがたくさんあった。個人差はあるが、児童はどの活動にも真面目に取り組むことができ、上級生としての自覚を育むこともできた。お互いが相手のことを考えながら関わったり、クラス全体のことを意識して行動することが増えたように思うが、思いやりに欠ける行動で傷つけてしまうことはまだあり、自分の思いを我慢したり、良くない行動に対して注意し合えないこともある。協力や助け合いは大切なことだと分かっているにもかかわらず、行動に移すことが難しく、つながりの弱さもうかがえる。

2. 人間関係づくりの具体的な取り組み

(1) 継続的な取り組み・・・自己肯定感を高め、お互いを認め合うために

- ・絆ノート

一日の生活を振り返り、心に残ったことを記録させ、承認のメッセージを寄せ、全体に広げていく。

- ・いいこと発見

日直の一日のがんばりをメッセージとして贈る。

- ・スピーチタイム

みんなで話したい、聞いてみたいスピーチの題を集め、日直がサイコロトークをする。お互いのものの見方や考え方を認め合う。

(2) 特別活動・・・自分達で決めたことを実行し、楽しく協力できるように

- ・スマイル、遊び、整とん、新聞の各係活動を支援し、自分達で工夫して生活を楽しく充実したものにさせていく。

(3) 学習のなかで・・・一緒に学び、一緒に伸びていけるように

- ・ペアやグループで、考えを伝え合う活動を取り入れ、考えを広げ、深められるようにしていく。自分の考えと比べながら聞くことや相手意識をもった分かりやすい話し方を意識させるようにする。

(4) 行事を通して・・・上級生としての役割を果たし、できたこと、がんばったことを認め合うために

- ・米作り、陸上、音楽会、防災キャンプ、収穫祭などの際に行ってきた、ビーイングによる出発点での思いの確認、目標設定や役割分担、振り返りによる思いの共有など継続的に行っていく。

3. 成果と課題

みんなで協力して一つのものを成功させる経験や陸上記録会、防災キャンプや音楽会に向けた取り組みで、コツコツ努力して自分の力を伸ばしていく経験などから自信をもって取り組めることが多くなった。その気持ちが自分や周りに対する優しい気持ちとなって表れ、クラスの雰囲気も温かくし、つながりを強めた面もある。

しかしやるべきことや大切なことは分かっているにもかかわらず、なかなか実際に行動できないという実態もある。児童の本音や本気、しんどいことを十分引き出せなかったこと、児童一人ひとりの課題やクラスの状態に合わせた関係づくりが十分にできなかったことなどが課題として挙げられる。また日々の学習の中でお互いの考えやがんばりなどを認め合うことが十分ではなかった。

一人ひとりが自信をもって学習、活動ができるように支援すること、クラスとしてのマナーやスキルの確認や、お互いのがんばりや思いを共有することを行っていく、集団としてともに伸びていけるようにしていきたい。4月から最上級生となる自分たちの姿を意識させ、一人ひとりをつなげていく支援を続けていきたい。

6 学年の取り組み

1、学級の実態

男子4名、女子6名、計10名、明るく元気な学級である。個人差はあるが、やらないといけないことは真面目にがんばろうとする。また、一人ひとりが、最上級生になったという自覚と責任をしっかりと持ち、委員会の仕事やなかよし班の班長の仕事に、意欲的に取り組んでいる。

第1回目のQ-Uの結果では、9名が満足群に属し、Aだけが非承認群に属するという結果だった。Aは自己肯定感が低く、自分の思いを素直に出すのが苦手な子である。周りから疎外されていることはないが、休み時間などクラスの男子と関わって遊ぶことがなく、下級生といることが多い。

全体的に学級の雰囲気は良いと感じてはいるが、相手の気持ちを考えない言動で相手を傷つけたり、言い合いになってしまったりのトラブルもよくあった。

2、人間関係づくりの具体的な取り組み

(1) 特活・学級活動で・・・温かい雰囲気を作っていくために

- ・星いくつ！

昨年もやっていたので、昨年との友達の見方のちがいに自分の成長を感じることができた。

- ・夏休み・冬休みの思い出ビンゴ サイコロトーク

長期の休み明けに行い、友達の休みの過ごし方を楽しみながら聞き合った。始まりの日に和気あいあいと関わり合い、交流を深めることができた。

- ・あなたへプレゼント！

(2) 継続的な取り組み・・・自信を積み重ねていくために

- ・1年生との交流

4月当初のお迎え登校、なかよし班活動、掃除、朝読書での読み聞かせなど年間を通して行う。

- ・自主的な係活動

学期ごとに係をシャッフルして意欲を持たし、成果物を残していく。

☆学級の歴史係 ☆スマイル係 ☆記事、イラスト係

- ・朝の会、帰りの会で

☆朝の会でサイコロスピーチ（毎学期お題を変えていく）

☆1枚文集の読み合い（保護者にも読んでもらう）

(3) 行事の中で・・・認め合える仲間づくりのために

- ・運動会、修学旅行、音楽会でのビーイング、振り返り

- ・防災キャンプでの振り返りで自分や友達の頑張りを見つめる。

(4) 授業の中で・・・仲間と共に伸びるために

[国語] ・自作の物語を読み合い、感想を伝え合う。

・書くことを通して、自分・友達を見つめる。

[各教科]・ペア学習、グループ学習を適宜取り入れる。

3、成果と課題

2回目のQ-Uでは、10名皆が満足群に入る結果となった。Aが6年男子と積極的に遊ぶことはないが、グループやいろいろな活動での自然な関わりが増え、学び合い、認め合いながら交流しているように思う。

なかよし班の班長、委員会活動などでリーダーとして意欲的に取り組んでいる6年生。それについて評価してもらうことも自信につながっている。また、行事を重ねるごとに、頑張っている自分や友達を見つめる目にそれぞれの確かな成長を感じる。しかし、本音で言い合える子がいる反面、まだ友達に遠慮をしている子もいる。今後ともお互いを認め合う場を持ち、一人ひとりの笑顔が輝き、心から楽しいと思えるような活動を仕組んでいきたい。

②全校での人間関係づくり

ア、ロングふれあい活動

異学年の交流や上級生のリーダーシップ形成などをねらい、年間5回実施するようにしている。全教職員が担当を持ち回りして、児童に様々なエクササイズを実施する。児童同士の関わりを観察しながら、教職員で活動を振り返り、児童理解にもつなげている。なかよし班を使ってする活動が主であるので、班長に事前指導をし、主体的に活動できるようにしておく。また本年度からは、体力づくりと児童の関わり合いを目的に、「ニスケ」=新居小版サスケ(多様な運動器具を使ったサーキットトレーニング)を取り入れた。

ロングふれあい年間実施計画

回	日時	担当	内容
1	6月11日(木)	川田、中野	なかよし班ゲーム (ラインアップ、新聞折りたたみゲーム等)
2	7月16日(木)	生活健康部	INプール(浮島、一寸リレー、ボール送り等)
3	9月22日(木)	吉本、堅田	バナナマン(バナナ鬼)、カモン
4	11月26日(木)	元吉、岡上	ニスケ
5	2月4日(木)	水田、渡辺	全校バースデーライン、アンパンマン・インパルス、かるがも母さん…(流行性耳下腺炎流行のため中止)

○活動の様子

第1回 なかよし班ゲーム



【クイズ】
みんな仲良く相談



【新聞おりたたみゲーム】
上級生が下級生をおんぶして



【伝言ゲーム】
うまく伝わるかな?



【ラインアップ】
何月生まれかな?

第2回 ロングふれあい IN プール

【浮島に乗って向こう岸までリレー】
うまくたどり着くかな？



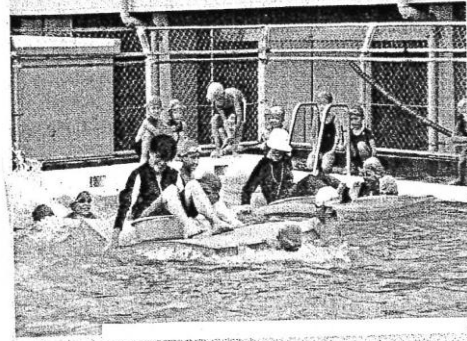
落ちないように気をつけて

【プールで渦巻き】
6年生がいるからこわくないよ！



読もっか高知新聞 投稿記事より

みんなが笑顔になれた



★土佐市・新居小★
9月1日、全校で「ロングふれあいプール」を行いました。この活動は全校で仲を深めるために、お楽しみ会のようにプールでふれあうものです。
1年生から6年生までが「一番楽しそうだったのが、「リレー」でした。浮島の上をたらいを乗せ、その中に1、2年生が入って寸法師になって、上級生たちがおしよけて、25メートル進むものでした。最後には、先生も乗ったのでとても良かったです。
今回のロングふれあいは、全校のみんな、そして先生までもが笑顔になれたので、とても楽しかったです！！
（6年、明神陽奈子記者）

第4回 ニスケ（サスケの新居バージョン）

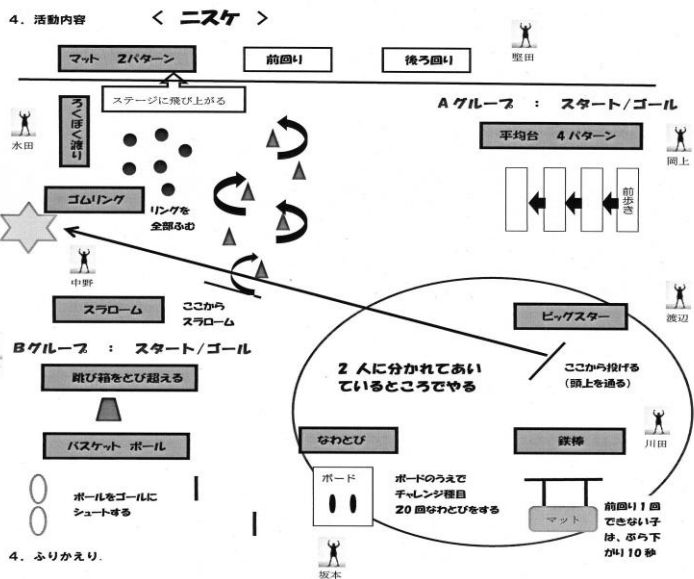


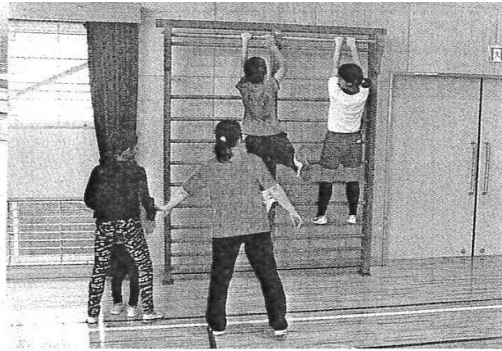
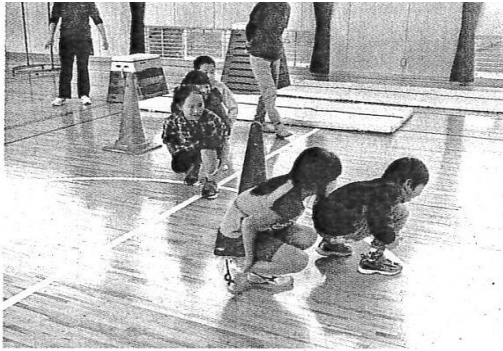
上級生が下級生をサポート



第4回 ロングふれあい活動

1. 日時 2015. 11.26 (木) 13:10~13:45
2. 担当 (ルール説明、全体審判、計時) 岡上、元吉
3. 準備物 平均台(4) ビッグスター(1) 鉄棒(1) 鉄棒用マット(1) なわとび(2) なわとびボード(2) バasketゴール(2) ボール(2) 跳び箱(1) 跳び箱用マット(3) コーン小(6) リング(6) ストップウォッチ(2)





「ニスケ」で体力づくり

★土佐市・新居小★

新居小学校では、テレビ番組でやっている「サスケ」の新居バージョンの「ニスケ」というのをやっています。

この日は、仲良し班に分かれて、平均台渡り、ろく木ぶら下がり、かるがもスラローム、シュート、とび箱、マット、なわとび、鉄棒などをやりました=写真。

平均台では、後ろ向きに進むのは難し

く、みんなで支え合いました。腹ばいで進むのは大変でした。

私が一番苦労したのは、バスケットボールのシュートです。上級生は遠い位置から、下級生は近い位置からシュートしました。なかなかボールは入りませんでした。

でも、班のみんながやさしく「がんばれー」と言ってくれてうれしかったです。

これからも、ニスケで楽しく体力づくりをがんばっていきたいです。

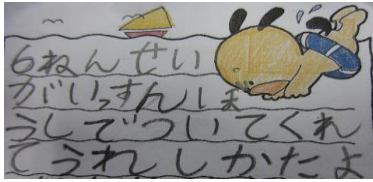
(6年、松岡明奈記者)

○児童の振り返り

1年生から6年生までの全児童が、ロングふれあい活動を通して友達や上級生、下級生のいいところを見つけて書き、玄関に掲示して見合うようにしている。



1年

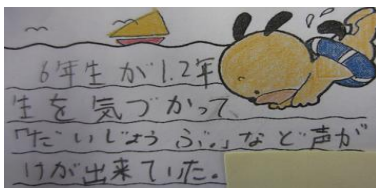


2年

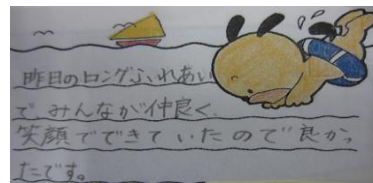


ロングふれあい・イン・プール後の感想

5年



6年



子どもたちが楽しみにしているこの活動。班長(6年生)が自覚をもち、下級生をリードし、なかよし班で楽しくゲームを楽しめている。上級生のリーダーシップが随分発揮されるようになった。また、異学年との関わりも広がってきた。下級生にとっては上級生からの学びは大きいし、上級生が持てる有用感も大きいと考えられる。

イ、音楽発表会

4年前から全校合奏に取り組み、3年前から土佐市音楽発表会に全校で参加している。全校の人数が減り複式になる現状から、全校で関わり合い、みんなで作る達成感や成就感を味わい、豊かな感性を育てるために取り組んでいる。

昨年度のテーマは「笑顔と元気 つなごう音楽」。6年生がテーマを考え、一人ひとりが目標を書き全校音楽ビームを作った。



全校音楽ビーイング



昨年度は歌う曲を6年生が選び提案した。自分たちが歌いたい曲、元気になり前へ前へ進む曲「ぼくらの未来へ」が決まった。上級生の歌声や演奏が下級生の目標となり、励みとなっている。合奏練習も毎日自主練習をする姿が見られた。パート練習ができあがると、全校自主練習に下級生の参加もあり、日に日に上達していった。

初めての合奏合わせ



1年生みんなも真剣です。

リズムを正しく、間違わないように！



音楽発表会では、他校の演奏を聴き、音楽の世界に入り込むことができた。それぞれのよさを感じ取り、みんなで共有しながら楽しむことができた。



土佐市音楽発表会

音楽会を終えての感想



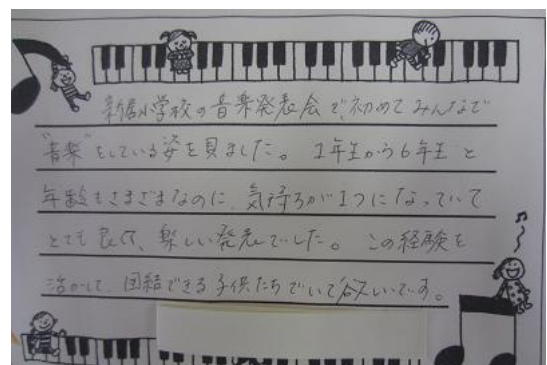
音楽発表会で、1、2年がメロディオンをみんなきれいな音をだせていたのでよかったです。リョウがくんがサンバホッスルで大きな音でふけていたのですごいなと思いました。
3、4年生では、みんなリコーダーも歌もが人ばってできていたのよかったです。

振り返りでは自分の反省は勿論、下級生の頑張りや成長ぶりについての感想があった。下級生は上級生の迫力ある演奏への憧れが素直に書かれており、自信にもつながっている。保護者のメッセージも認めてくれる言葉が嬉しく、次への意欲化となっている。

一人ではできない合奏。全校がひとつのものをつくりあげる達成感や成成感、演奏後の拍手で味わうことができた。

音楽会の次の日には、校内音楽発表があり、地域の方や保護者の皆さんに披露した。演奏後の拍手や感想に、子どもたちも満足した様子が見られた。

保護者からのメッセージ



校内音楽発表会



ウ、風の子サポート活動

異学年どうしの交流活動を通して、温かい人間関係を深めていくことを目的として行ってきた。

○兄弟学級サポート活動

・ 1、6年生

(朝読書での読み聞かせ)
一生懸命聞いてくれる1年生に6年生も気合が入ります！



初めは少し緊張したけど、遊びの話で意気投合しました！



・ 2、5年生



一緒に食べると楽しいです。



なかよし班活動の時の上級生とは違う一面が見られ、会話もはずみ、より親くなるきっかけとなった。上級生としての自覚や自己有用感が育っていると考えられる。

エ、なかよし班活動

異学年集団の中で、好ましい人間関係をつくること、また、上級生が下級生をサポートし、お互いが協力して活動(行事)を成し遂げる喜びを知ることを行っている。

○春の遠足

仲良し班で、追跡ハイキングをしながら「しおかぜ公園」まで行き、着いた後は、6年生がゲームを進行する。6年生が、ゲームの計画や準備、当日の進行など全てを行うことで、リーダーになったという自覚と責任をもたせる。



○仲良し班対抗ドッジボール大会

執行委員会の活動として、代表委員会におろし、ルールややり方、練習日程等を確認して行っている。長休みの練習も執行委員会が進行し、児童主体の活動である。



○6年生を送る会

来年のリーダーとして、バトンを引き継いだ5年生が計画、進行をする。



【笑い地蔵】
笑い地蔵が先に笑ってしまいました！

【鉄道工事】
手が離れないようにしてみんなでゴールまでつなぐぞ！



【1年生からのプレゼント】
お世話になりました。



【なかよし班のみんなから寄せ書きをプレゼント】
ありがとうございました！



お元気で！中学生になっても頑張ってください！

③集会活動

ア、児童集会

ねらい：全校で目標や課題を確かめ、聞く、話す等の人前力をつける場とする。

- ・日時・・・金曜日 8：15～ 1校時にできるだけくいこまないようにする
- ・場所・・・体育館
- ・内容・・・(司会進行 執行委員会)

①□ 歌

②□ 学年、委員会、班長会から

① 先生から(その週の日直の先生が、生活で気のついたこと、行事や取り組みなどについて話す)

② 各学年から目標について評価報告をする。(各学年月1回)

⑥ 執行委員会評価(入り方、めあてなどについて)

※集会の流れを前日までに黒板に書いておく。

○各委員会からの発表例

- ・保健・体育委員会

委員会で作詞した
歯みがきソングを
紹介しました。

朝の健康・いきいき体操の
やり方と目的を伝えまし
た。



- ・美化・栽培委員会

正しい掃除道具の使い方、掃除の仕方を知らせました。



- ・図書委員会

低・中・高ブロックごとに分かれて読み聞かせをしました。



相手意識を持って話すことで、人前力もついてきている。また、各委員会で独自の工夫した取り組みが発表できてよかった。

イ、音楽集会

ねらい：ひとつのものに全校で取り組み、学年の成果を認め合いながら伸びあう場とし、音楽的活動を楽しめるようにする。

- ・日時・・・金曜日 8：15～
児童集会に続き、1校時に行く
- ・場所・・・体育館
- ・内容・・・体操、発声、声づくり
全校合唱、合奏
運営、司会は担当教員が行う

- ①体ほぐし…首回し、亀、体側伸ばしなど。
- ②発声…顔の表情や声の出し方に気をつけて発声。
歌「ゆかいに歩けば」
- ③今月の歌・リズム遊び・手遊び歌
- ④評価

○平成 27 年度の具体的内容

- 4月 「校歌」「はじめの一步」「青空へ登ろう」
- 5月 「ゴーゴーゴー」運動会の歌
- 6月 「気球に乗ってどこまでも」
- 7月 学年発表
- 9月 「少年時代」「十五夜さんのもちつき」
- 10月 「ぼくらの未来」「風になりたい」音楽会の合唱・合奏
- 11月 「ぼくらの未来」「風になりたい」音楽会の合唱・合奏
- 12月 「ひろい世界へ」リズム遊び
- 1月 「マイバラード」
- 2月 学年発表



音楽集会では歌唱だけでなく、リズム遊びや手遊び、友達と組でする遊びなど、誰かとペアになり、体を使った遊びを取り入れるようにしてきた。拍を感じリズムも刻み、体で感じ取ることで、合わすタイミングやそろったときの気持ちよさなど体感し、音楽の演奏に活かしている。また、音楽の時間にしていることを学年の発表としたことで、他学年のよさを認め楽しんだり目標としたりすることができた。

ウ、体育集会

ねらい：全校で楽しんで運動をし、体力アップにつなげる。

- ・日時・・・金曜日 8：15～
児童集会に続き、1校時に行う
- ・場所・・・体育館、運動場
- ・内容・・・柔軟、体づくりの体操、体力測定、縄跳び、
運営、司会は担当教員が行う

第1回	体育集会	5月1日	3, 4校時
	プレ体力テスト		
第2回	体育集会	5月26日	3, 4校時
	全校体力テスト		
第3回	ニスケ	11月1日	
第4回	縄跳び集会	2月5日	
第5回	ニスケ	2月12日	

ニスケ



縄跳び集会



体力テストに向けて、プレ体力テストを行い、多様な動きを確認し、低高学年をペアとして取り組んでいて、関わりの一つにもなっている。

体育集会でのニスケは、ロングふれあい活動のときとは違い、児童の体力アップを目指した体づくり運動を取り入れている。

縄跳び集会では、2週間の取り組みの成果を発表する場として行った。上級生の跳び方を見て、下級生も新たに目標を持つ機会となっている。

5 健やかな体を育むために
 ～生活・健康面での具体的な取り組み～

(1) 生活習慣の改善に向けた取り組み

- ①生活リズム点検を学期の初めに行う。(5月連休明け, 9月, 1月)
- 保護者へ生活調べの調査依頼

保護者様 平成28年1月8日
土佐市立新居小学校

生活調べ「朝の元気しらべ」が始まります
 < 1月12日(火)から1月18日(月) >

冬休みが終わり、三学期がはじまりました。休み明けの体調を整え、規則正しい生活で学年最後の学期を取り組むことができるように1月12日から1週間、生活調べを行います。毎日、家で記入して毎朝学校へ持ってくるようにしていますので、お家の方も一緒に見ていただければと思います。(低学年は、お家の方が記入していただくとうれしいです。)

親子で話し合っって目標を決め、規則正しい生活ができるようご家庭でのご協力をよろしくお祈いします。
 ※今回は全員が高知県健康政策部のチェックカードで行います。
 ※最終日には、『1週間をふりかえって』と『おうちの方から』への記入をお願いします。

<記入例>

		1/12 火曜日	
7時までにおきる *時間も書こう	できた	4点	6時 30分 4点
	できなかった	0点	
朝ごはん	食べた	3点	時間 50分 (5・6年生の場合) 1点
	食べなかった	0点	
家庭学習(宿題など) *時間も書こう <目標> 1・2年生(30分以上) 3・4年生(45分以上) 5・6年生(60時間以上)	できた	3点	
	できなかった	1点	
	しなかった	0点	

めざせ!けんきいっぱい新居の子ども
 元気のもと、けんこうにいい生活習慣

★ その日の合計点と1週間の合計点を書いてください。

起きた時刻を書きます。7時までに起きたら4点、起きなかったら0点です。

家で宿題などをした時間を書きます。各学年の目標の時間以上でできたら3点、目標の時間までできなかったら1点、宿題をしなかったら0点です。

調査結果を保護者と共に考察し、生活部通信として発行

PTA生活部通信

H. 27. 7. 1 新居小学校PTA生活部

PTAの皆様、元気でお過ごしでしょうか?
 生活点検をする1週間、家庭での声かけや記入などのご協力ありがとうございました。
 PTA生活部が、子ども達の生活点検「朝の元気しらべ」(5月1日～18日実施)の結果の考察を始めて今年でも年目となりました。ぜひ、この価値を親子で見てください。子どもさんと一緒に生活をみることができるひとときをぜひ楽しんでほしいです。
 また、皆様からの返信もお待ちしております。どのようなことでも結構ですので一言お願いします。

1. 早起き 7時までに起きる

全学年に、早起きができていると思います。上級生になるほど早起き習慣づいているようです。一日のスタートにつながりますので、これからは続けていけたらいいですね。

2. 朝ごはん

朝ごはんは、一日のエネルギーの源です!一日3食のうち1食ですが、1番大切な1食です! 栄養の元氣しらべです。全部がそろってしつかりと朝ごはんを食べべて食後できるようにしましょう。

3. 家庭学習

1・2年生(30分以上) 3・4年生(45分以上) 5・6年生(60分以上)

1年生は少しずつでいいので、本を読んだり文字を書いたりして、朝に読む習慣がつくといいですね。
 2～6年生は、学習ノート等に学習の予習をしてみよう、家庭みんなで頑張っています!

4. テレビ・ゲームなど 1時間以内

全学年、テレビを見る時間やゲームをする時間を長くしないように心がけています。とてもいいことだと思います。次は「毎日できた」が増えるようにもがんばりましょう!

5. 排便

朝に排便があった朝とない朝で精力を比較すると、排便があった日のほうが高い数値が出た・・・という研究結果があるそうです。朝、排便をすることで、余力が活動できるそうなので、少しでもトイレに排便が促されるようにがんばりましょう。そのためには、早寝早起きが大切です。

6. 早寝

1～3年生は9時まで 4～6年生は10時まで

毎日、早寝できた人は、全校で約4割の人で、昨年の調査より寝る時刻が約30分遅くなっている人が増えたようです。ぐっすり寝ることで、その日の疲れをとり、翌日は元気に活動できるので、睡眠は十分とるようにしましょう。

7. 返信

お便りの返事が届いたことにご挨拶ありがとうございます。ご返信ください。よろしくお願いいたします。 (学年 名前)

返信先: 〇〇〇〇

8. クイズ

クイズは生活リズムのチェックポイントです。ぜひ読んでみましょう!

クイズ1 朝起きて、脇がめざめるのに2時間以上かかる?
クイズ2 休みの日にたくさん寝ると「目覚め」ができる?
クイズ3 寝ている間は、体温が低くなるので、あせわが気になる?

※答えはうらにありません。

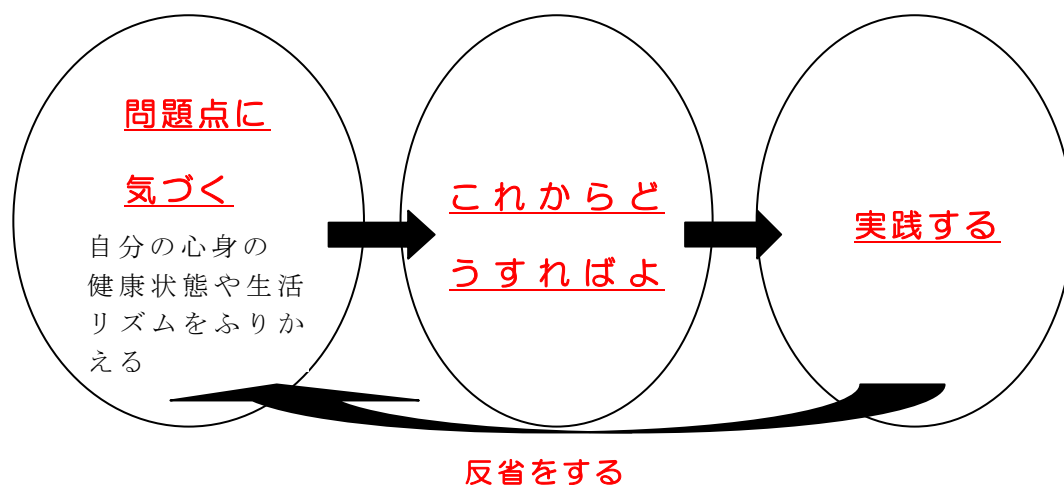
②かがやきの時間

自らの心身の健康状態や、朝起きてから夜寝るまでの生活に目を向け、自分の体を見つめ直すきっかけとし、心身の健康についての問題点を見つけ、解決していく態度や習慣を養う時間とする。

また、生涯を通して病気になってからどうする・・・というのではなく、病気にかかりにくい生活をするにはどうすればよいのか、現在、健康な子どもは、健康増進するためにはどうすればよいのかを考え、学んだ知識が行動化へとつながるための実践力を育成する。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、これからの社会をいきいきとたくましく生きる力を身につけるために、家庭と学校が連携を図りながら取り組んできた。

かがやきの時間のイメージ



※児童・保護者・学校が一緒になり望ましい生活リズムをつくれるようにしていく。

時間	休み時間・放課後・学級でかまわない時間帯
場所	保健室
実施者	養護教諭
かがやきカードにコメントを書く	担任・養護教諭・保護者 2週間の実践を通して、児童がふりかえりカードに感想を記入する。その後、それぞれの立場より思ったことや願いなどを記入する。
参考資料	朝の元気調べアンケート結果、健康診断結果、QU結果、長期休業中の様子、日頃の生活より気になっていること等

個別の指導を行うことで、自分の体や生活への興味が出てきて、児童も保護者も一緒になり、問題点を改善しようという意識の高まりが見られるようになってきた。（資料生2参照）

(2) 体カアップに向けた常時活動（健康いきいき体操）

新居小の児童の帰宅後の過ごし方は、山や野原で遊ぶ等の外遊びより、ゲーム（指先を使う遊び）、テレビを見る、本を読む、絵をかく、ペットと遊ぶ等の家の中での遊びが多くなっている。

体力測定では、柔軟性に欠ける児童や、体育の時間でも握力が弱く、鉄棒時に手が離れて落下しけがをしてしまう児童もいる。

にぎにぎ体操とのびのび体操の二つの体操の目的ややり方を徹底させ、毎日継続して行うことで運動能力を高めていくこととした。

①体操の目的

【にぎにぎ体操】

- 手は第2の脳ともいわれ、脳に密接につながっていて、脳を活性化するには手をよく動かすことが大切であり、全身運動機能を高めながら、生活基本行動に不可欠な握力を鍛える。

【のびのび体操】

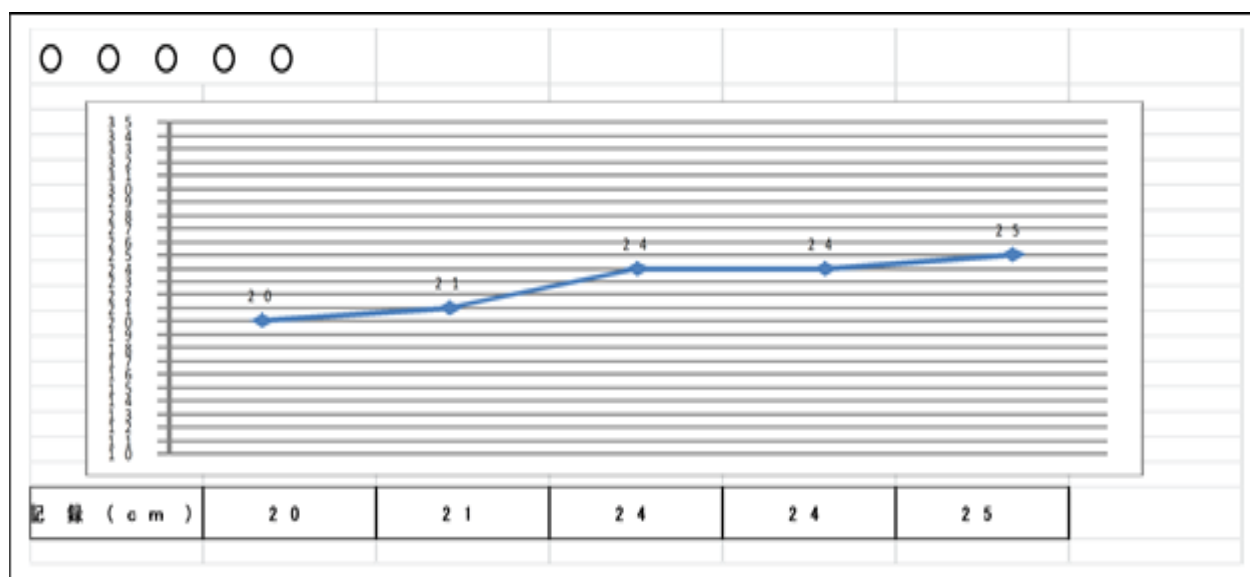
- 運動能力に関係なく、柔軟性を伸ばす。

※ 高知県小体連もにぎにぎ体操とジャックナイフストレッチをセットで進めている。

②記録の活用

定期的に測定した記録を残し、本人の励みにしていく。

記録カード



③測定・ファイル保管場所

- 保健室

④その他

- 毎日の健康いきいき体操の時、保健体育委員会がクラスにいき、一緒に体操をする。
- 教師も体操と一緒にいき、ポイントの声かけをする。

のびのび体操の行い方

① しゃがんで、足首をしっかりと握り、胸と太もも前面をぴったりとつけます。

② 「ストレッチ中」の状態まで、膝をゆっくりと伸ばします。

③ 膝をできる限り伸ばすように10秒間力を入れます。

④ ①～③を5セット繰り返します。
(注意) 膝を伸ばすときに、胸と太ももが離れないようにすること。

ストレッチ開始前 ストレッチ中



にぎにぎ体操の行い方

① 親指が上

② 人指指が上

③ 中指が上

④ 小指が上

にぎにぎ体操
100×4回
ゆっくりをきまきまにぎにぎ



体操後：保健体育委員評価

胸と太ももがきちんとくっついていました。
これからも、つづけてください。

毎日の体操が目的をもってきちんとできるように、保健体育委員会が体操後に評価をすることで意識して行うようになってきた。また、定期的に測定をして記録を残していくことで、伸びを実感し意欲が持続するようになってきた。

6 成果と課題

(1) 人間関係づくり

人間関係づくりでは、各学年のエクササイズや異学年との交流、全校の行事や活動を通して、安心して学級生活が送れるようになっている。Q-U 3 回目では、全校で学級生活満足群が 85%、不満足群が 0% になり、年度当初の目標値を大きく上回り、意欲得点も目標値を達成することができた。子どもの声アンケートの「あなたは自分には自分なりのよさがあると思いますか。」(3 年生以上)という問いに対して、H26 年度は 76% であったが、H27 年度は 100% と上がり、自己有用感を感じている児童が増えたと考えられる。

それには、H26 年度からの Q-U の分析、共有を通じた組織的な学級経営力の向上を目指した校内研修を積む中で、自分の学級にとどまらず、学校全体の児童理解が進み、実践の方向性が同一になってきたことが要因として考えられる。また、学級の課題を学校課題としてとらえ、各教員がそれぞれの立場で役割をもって実践していくことで、児童にも良い変化を起こすことができたことも大きな成果であった。新居小 Q-U 式ターゲットシートを基に、授業の中で、評価、価値付けをしていったことや、行事を通して、全校が達成感や成就感を味わったことも目標値を大きく上回ったことにつながっていると考えられる。また、なかよし班(縦割り)の活動でそれぞれの役割を果たしたことも良い結果の要因と言えるのではないと思われる。

今後は、Q-U における児童の実態と学力との関連性を分析し、学力向上に向けて実践に活かしていくことが課題である。授業の中で、児童同士が関わり合い、高め合える関係づくりを仕組んでいきたい。また、組織を構成する教職員が交替しても、このシートを活用し、継続して行っていくことが重要である。児童を取り巻く環境も変化が激しく、児童の実態把握をしっかり行い、必要とされる手立ては何かということを全教職員で話し合い、同じベクトルで取り組んでいきたい。

(2) 生活・健康面

生活健康面では、年間を通して、外部講師による専門的な指導を受けたことや外遊びの奨励、ニスケ、業間の縄跳びや持久走、ドッジボールの取り組みなどにより、児童の運動に対する意欲は高くなり、楽しみながら体力づくりに取り組んでいる。

前年度の全校的な課題であった柔軟性の向上のために、一昨年度より「のびのび体操」(朝読の前の時間)に取り組んできた。児童が、毎日真面目に取り組んできたことと、体育の授業での体ほぐし運動の継続やニスケ等の取組の成果もあり、前年より長座体前屈の全校平均値が 4.6 cm 伸びている。また、脳の活性化と握力の向上を目指して、今年度後半より「にぎにぎ体操」を始め、5 月の体力測定時より全校平均値が 2 kg 増加した。朝の「健康いきいき体操」として位置付き、児童もその後スムーズに朝読に入れている。

毎朝の体操が、マンネリ化したり、おざなりになったりしないように、保健体育委員会の仕事に位置づけ、また数ヵ月に一度以上は測定をし、伸びを自覚させることで意欲付けを図っていくようにしたい。

かがやきの時間では、児童の実態に応じての生活習慣や環境を見直し、問題点を改善するためにどのようにすればよいのかを考える貴重な時間となった。また、個別の指導を行うことで、時間をかけて資料を見ながら一緒に考え取り組むことができ、改善の方向へ向かう児童が増加した。さらに、児童と保護者と一緒に継続して目標に取り組むことで、少しずつではあるが自分の体や生活への興味がでてきて、児童も保護者も意識の高まりがみられるようになってきた。

目標でなくなると望ましい生活リズムができなくなる児童がいる。継続的にかがやきの時間ができればよいが、時間の確保が難しい現状があるので、学級でも声がけするなどし、継続して取り組める工夫が必要である。

保護者の協力を得ながら、意欲を持続し生活を見直して改善するために、どのよう

な手立てが効果的なのか個別に対応していかなければならない。しかし、親の生活スタイルや思考、各家庭の生活習慣まで改善するのは、大変難しいと感じる。

望ましい生活リズムや生活習慣の定着ができてこそ「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」が育まれると思う。今すぐに改善できなくても、5年先10年先を見据えて、本人が「はっ！」と気づき、「なるほど！」とわかり自分で「変わるぞ！」と行動変容できるまでを期待して、気長に言い続けていかなければならない。



自分がもつと
かがやくために、
できることは
自分でやり、
自分からすすんで
気持ちのよい生活を
つくっていきましょう！

